

総合計画上の位置付け

施策の大綱	行財政運営の効率化	施策の目的	市民満足度の高い行財政運営を進める	施策	財政運営
-------	-----------	-------	-------------------	----	------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
財源の確保	ふるさと納税事業	常創戦略課
経費の節減	公共施設等マネジメントの推進	資産活用課
受益者負担・補助金などの適正化	元気のみなもと補助金の適正な交付	市民と共に考える課
財政運営の適正化	RE-FRESH PLAN（行政経営方針）の行動計画の進捗管理	行財政改革課

目標

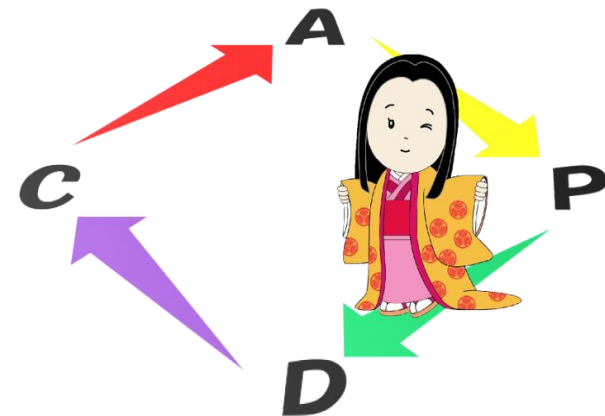
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
市税の収納率	国保税を除く徴収率	税の公平性を確保するため自主納付を促し、滞納を放置することなく法令に基づき、厳正に対処する。	95.9%	上昇
経常収支比率	財政運営の弾力性を示す数字。低いほど良好。	経費節減などに努め改善を目指す。	89.8%	低下

令和2年度の取組状況への意見

行政改革懇談会（市民）からの意見

新型コロナウイルス感染症等により、社会経済情勢は急激に変化している。その状況に応じた施策の実施やそれに対応する財政出動に備えるため、計画的な財政運営に努められたい。ふるさと納税は積極的に推進すべきである。利用者の満足度をより高められるような返礼品を開拓して欲しい。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	ふるさと納税事業				
担当	常創戦略課				
予算科目	一般会計				
	2款	1項	3目	2事業	
事業の目的	魅力的な返礼品(地場産品)による本市のPRを行い、自主財源を確保する。また、地場産品を取り扱うことにより地域活性化を図る。				

総合計画上の位置付け

施策の大綱	行財政運営の効率化
施策の目標	市民満足度の高い行財政運営を進める
施策	財政運営
施策の方向	財源の確保

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	168,318千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		500,000 千円
実施内容と改善点		
ポータルサイトを活用したふるさと納税の受付。ポータルサイト数を増やすことで新たな寄付者の掘り起こしに取り組むとともに、新規返礼品の開拓を行うことで、新たな本市の魅力を発信する。また、全庁的な取組みとして全職員によるPR活動を実施する。		

令和2年度	決算額	135,738千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		224,434 千円
当初の成果目標		200,000 千円
実施内容と改善点		
ポータルサイトを活用したふるさと納税の受付。ポータルサイトにおける返礼品の特集記事の掲載※や新規返礼品の開拓を行った。		
※すきやき特集への掲載(ふるさとチョイス)		

令和元年度	決算額	107,560千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		203,360 千円
当初の成果目標		50,000 千円

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	寄附金額224,434千円(前年度比21,354千円増)、寄附件数13,845件(前年度比2,983件増)となった。
分析	新型コロナウイルスの影響による巣ごもり需要により寄附が増加した。今後はポータルサイトの追加による新たな寄付者の掘り起こしに取り組むとともに、既存返礼品の組み合わせ等も含めた新たな返礼品を開拓、効果的なPR活動を展開することで、寄附の増加が期待できる。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

成果指標	
常総市へのふるさと納税額 ※納税額が増えることは ①自主財源を確保できる ②返礼品を提供している事業者等の利益が増える	
単位	千円

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		千円
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
千円		千円

NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	公共施設等マネジメントの推進			
担当	資産活用課			
予算科目	一般会計			
	2款	1項	5目	5事業
事業の目的	公共施設を自治体経営にとって最適な状態で保有し運営することにより、高品質で安心安全な公共施設サービスを提供する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	行財政運営の効率化
施策の目標	市民満足度の高い行財政運営を進める
施策	財政運営
施策の方向	経費の節減

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	27,670千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		7,500 千円
実施内容と改善点		
公共施設等運用戦略会議を中心に、公共施設の適正配置及び施設の有効活用を進める。民間事業者との連携を強化するため、地元企業への情報発信及び周知活動を積極的に行う。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	民間提案制度により新たな財政負担なく施設の照明LED化等の事業が進められ、また、トライアル・サウンディングにより施設の持つ価値や可能性が確認できたことは大きな成果である。
分析	これまで実施してきた施設の有効活用及び維持管理費の削減に加えて、公共施設の適正配置を進める必要がある。適正配置については、公共施設等運用戦略会議及び推進委員会を中心として全庁的に取組を進めていく。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

令和2年度	決算額	2,340千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		5,730 千円
当初の成果目標		5,000 千円
実施内容と改善点		
令和元年度に設置した公共施設等運用戦略会議において、具体的な案件の検討を行った。令和元年度に導入した民間提案制度で協議対象とした案件の事業化を進め、小中学校を含めた22施設の照明LED化等の省エネルギー改修を実施し、令和3年度から15年間のメンテナンスサービスと支払いが開始される。		



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		千円
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度	令和6年度	
千円	千円	

令和元年度	決算額	312千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		1,859 千円
当初の成果目標		- 千円

事業の説明

事業名	元気のみなもと補助金の適正な交付			
担当	市民と共に考える課			
予算科目	一般会計			
	2款	1項	7目	1事業
事業の目的	常総市元気のみなもと補助金交付要綱に基づき、市民団体等が実施する公益的であって、自発的かつ自律的な活動を支援する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	行財政運営の効率化
施策の目標	市民満足度の高い行財政運営を進める
施策	財政運営
施策の方向	受益者負担・補助金などの適正化

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	300千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		1 団体
実施内容と改善点		
市民団体等が自主的に行う社会貢献活動に対し自立した運営が出来るよう育成補助金とスタートアップ補助金の支援を行う。また、育成補助金の助成団体については各担当課と連携し、自主運営移行の増加に努める。 育成補助金：20団体 スタートアップ補助金：1団体		

令和2年度	決算額	0千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		0 団体
当初の成果目標		1 団体
実施内容と改善点		
育成補助金の助成団体については各担当課と連携し、各団体に自主運営へ働きかけるよう促した。 育成補助金：23団体 スタートアップ補助金：1団体（不採択）		

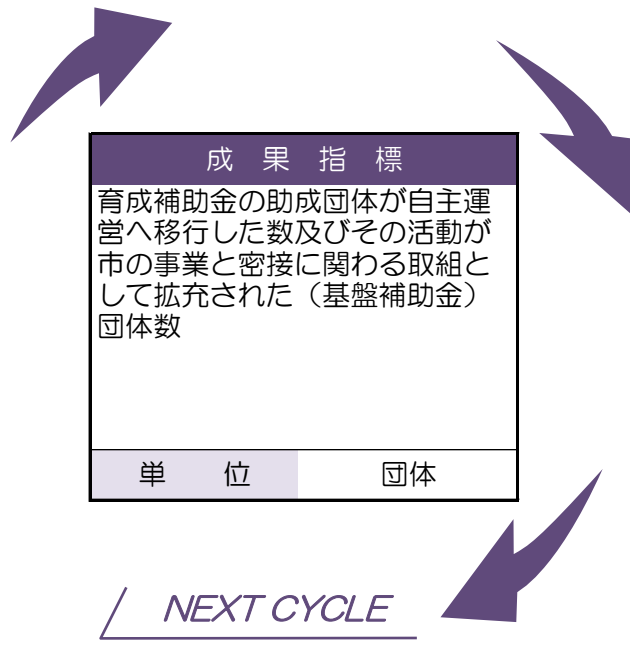
令和元年度	決算額	0千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		0 団体
当初の成果目標		1 団体

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	スタートアップ補助金の申請は1団体あり不採択となったが、今後も各団体の支援を行う必要がある。育成補助金交付団体については、担当課より各団体へ補助金に依存しない自主運営への促しを継続している。
分析	スタートアップ補助金や育成補助金を幅広く活用していただくため、市民活動団体への事業支援は継続的に行う必要があり、育成補助金は原則3年の補助期間を考慮するならば、自主運営に移行できるよう団体とのコミュニケーションが大切になる。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		団体
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
団体		団体

事業の説明

事業名	RE-FRESH PLAN（行政経営方針）の行動計画の進捗管理			
担当	行財政改革課			
予算科目	一般会計			
	2款	1項	6目	1事業
事業の目的	RE-FRESH PLANに掲げた改革の柱に基づいた具体的な取組みを定め、見直すことで持続可能な行財政運営を実現する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	行財政運営の効率化
施策の目標	市民満足度の高い行財政運営を進める
施策	財政運営
施策の方向	財政運営の適正化

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	1千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		90.0 %
実施内容と改善点		
従来通り年1回の行動計画の進捗状況調査の他、次期計画策定に向けた検討を始める。		
現計画の計画期間：平成30年度から令和4年度まで		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	新たに8つの取組みが加わり、各課の取組み合計数は、77から85となった。 取組みの進捗率は、85中72が実行され85%となった。（前年から5ポイント上昇）
分析	財政運営の適正化のためには、財源の確保と経費の節減に努めなければならない。 職員の経営感覚を強化するためには、研修や財政状況の情報共有など計画策定以外の取組みも必要と考える。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

令和2年度	決算額	1千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		85.0 %
当初の成果目標		- %
実施内容と改善点		
令和元年と同様に、3月末に行動計画の進捗状況調査を実施した。更新された行動計画は、分析資料を添えて市ホームページに公表している。		
計画書策定、調査は担当職員が行うため、外部委託料は今後も発生しない。経費は用紙代1千円を計上。		

令和元年度	決算額	1千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		80.0 %
当初の成果目標		- %

成果指標	
RE-FRESH PLANの行動計画に掲げた各課等の取組みの実行割合	
単 位	%

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		

今後の成果目標	
令和5年度	令和6年度
%	%

NEXT CYCLE